

再帰的テーマティック分析 (reflexive thematic analysis : RTA) を 中心とした質的研究

群馬大学大学院保健学研究科
岡 美智代



自己紹介



- ◆ 看護師免許取得後、虎の門病院勤務6年
- ◆ 筑波大学大学院修士・博士課程修了，博士(医学)取得
- ◆ 山形大学看護学部 助教授
- ◆ 北里大学看護学部 助教授
- ◆ 2006年より現職
- ◆ オーストラリア、グリフィス大学
Adjunct Professor(2016-2019)
- ◆ 趣味：家庭菜園，森林浴，温泉

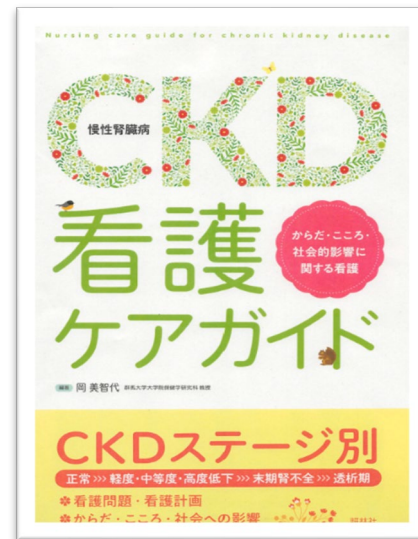
自宅のこごみ



自己紹介 専門は生活習慣病患者の看護



岡 美智代 編集:
行動変容をうながす看護: 患者の生きがいを支えるEASEプログラム、
医学書院



岡美智代 編著
CKD(慢性腎臓病)看護ケアガイド、照林社

11件の質的研究の結果をまとめた本

◆RTAの方法論について

岡美智代, 他(2022)Virginia Braun and Victoria Clarkeによる再帰的テーマティック分析を中心としたテーマティック分析の概要と分析プロセス,日本看護研究学会雑誌 2022, 45(2), 145-158

Contents



1. 量的研究と
質的研究



2. RTAの概要



3. RTAの進め方と
tips

4. 質の高いRTAを
行うためには

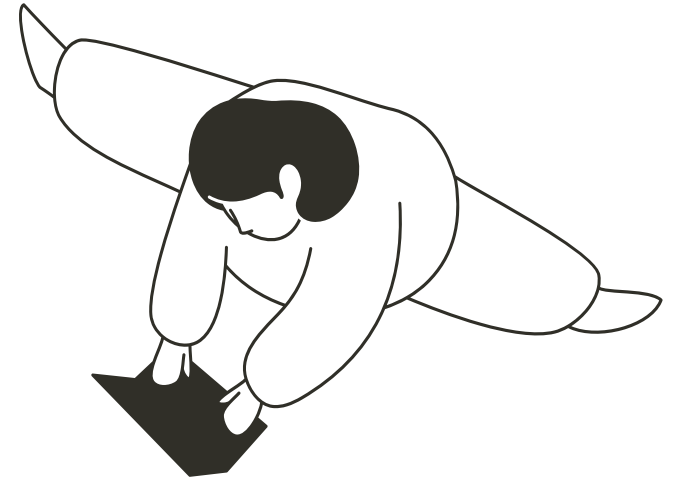


5. COREQの紹介



6. まとめ





1. 量的研究と質的研究

- ◆ 「研究の問(RQ)」別に見た研究デザイン
- ◆ 量的研究とは
- ◆ 質的研究とは・例
- ◆ 質的研究の研究手法の分類
- ◆ 研究パラダイム(研究の世界観)



「研究の問(RQ)」別に見た研究デザイン



研究の問い	研究の目的	仮説	研究デザイン	
これは何であるか？	記述する	仮説なし	質的研究	事例研究 グラウンデッドセオリー エスノグラフィー 現象学的方法 テーマティック分析
差はあるのか？	探索する	仮説なし	量的研究	実態調査研究 疫学的研究
要因間の関係性は？ (変数Aと変数Bの関連性は？)	説明する	仮説あり		仮説検証型研究
介入により変化するか？ (AはBの原因か？) (DによってEは変わるか？)	実証する	仮説あり		実験研究 介入研究

量的研究とは何か？



対象事象の度合いや要因間の関係を
数量的に明らかにする研究



<Keyword>

- ・統計解析
- ・調査
- ・尺度
- ・介入プロトコール
- ・RCT
- ・客観的
- ・演繹的

<RQ>

- ・関連性
- ・有意差
- ・高低
- ・前後比較

質的研究とは何か？



その事象がどのようなものを記述する
研究であり、その目的は対象者の経験や
認知などの主観的な世界を理解する

<Keyword>

- ・インタビュー
(in-depth interview)
- ・経験世界
- ・主観的
- ・ナラティブ
- ・帰納的
- ・コード分類

<RQ>

- ・どのように思っているか？
- ・何を体験したのか？
- ・〇〇とは何か？
- ・何が語られたか？



量的研究と質的研究



質的研究と量的研究には
優劣は無く、相補的な関係にある

事象を理解するためには
量的研究で、
生えている草木の本数を数える。
質的研究で、
表土の下をさらに深く知る。
この両方が必要！



質的研究 例1



How Entertainment Journalists Manage Online Hate and Harassment

Noel Warford , Nicholas Farber、Michelle L. Mazurek

エンターテインメント・ジャーナリストがオンラインのヘイトやハラスメントをどのように管理しているか

USENIX Symposium on Usable Privacy and Security (SOUPS) 2024. August 11–13, 2024, pp279–296

https://www.usenix.org/system/files/soups2024_full_proceedings.pdf

この研究では、ジャーナリストに対するハラスメントの影響と、彼らがその有害な影響をどのように軽減しようとしているかを理解しようと努めた。

RQ1: How do entertainment journalists mitigate the negative effects of harassment, both proactively and reactively? How and where do these journalists learn these protective strategies? Are they effective?

RQ2: How is this harassment impacted by risk events(e.g., publishing something about #GamerGate, tweeting about a current controversy)? What are the characteristics of these risk events?

質的研究 例1 続き



<要約>

エンターテインメント・ジャーナリスト(ビデオゲーム、テレビ、映画などを担当)もまた、執拗なハラスメントという形で深刻なデジタル・セーフティの脅威を経験している。しかし、ハラスメントの影響やこうした戦略の有効性については、十分な研究がなされていない。

本研究では、9人のエンタテインメント・ジャーナリストにインタビューを行い、オンライン上のヘイトやハラスメントの経験と、それに対処するための戦略を理解した。

これらのジャーナリストは、ハラスメントは困難で避けられない仕事の一部であると考えており、技術的な解決策やプラットフォームの余裕よりも、主に外部からのサポートに頼っている。(保護ツールの費用負担、監視カメラの費用負担などの雇用主からの具体的支援と、友人や同僚からの精神的支援)。

これらの結果は、ハラスメントに対処する個人の負担を軽減するために、より多くの支援が必要であることを示唆している。

質的研究 例2



Self-compassion in patients undergoing haemodialysis: A qualitative study

Kemmochi K, Oka M, et al. *Journal of Renal Care* in press

血液透析患者のセルフ・コンパッション: 質的研究

要旨

目的: 本研究は、血液透析を受けている患者におけるセルフ・コンパッションを明らかにすることを目的とした。セルフコンパッションとは、自分自身に対する気遣いや優しさの感情を経験することである。

デザイン: インタビューに基づく質的研究である。

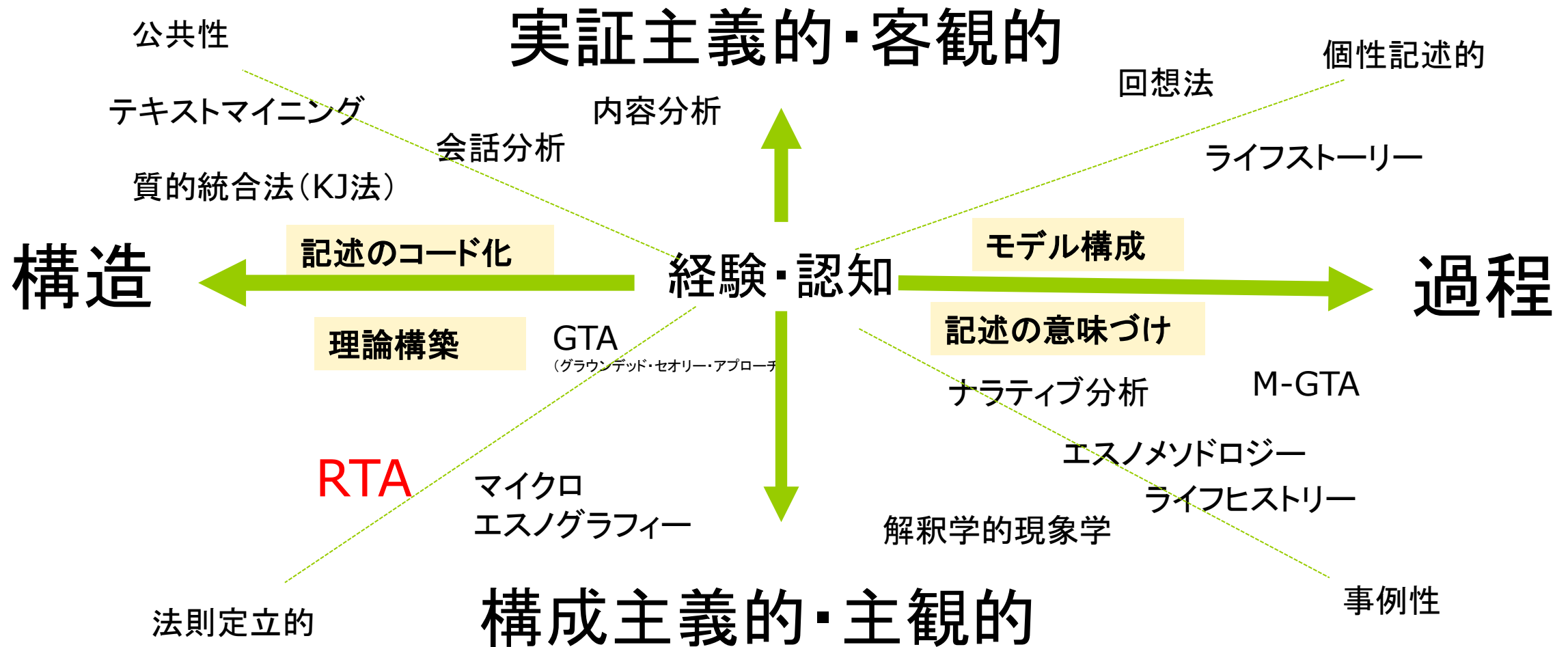
参加者: 参加者は、維持血液透析患者、15名。

半構造化インタビューを実施し、各インタビューを録音し、逐語的に書き起こした。

データ分析は、再帰的テーマティック分析を用いて行った。

結果: 7つのサブテーマから「受容」「肯定」「再発見」という3つのテーマが生成された。テーマの順序性については、受容、肯定、再発見の順に、これらの段階を行ったり来たりしながら進むと予測された。

質的研究の研究手法の分類



研究パラダイム(研究の世界観)



実証主義

現実世界は静的で観察・測定可能である
という立場をとる



構成主義

現実世界は人々により社会的に構成されており
多元的であるという立場をとる



各質的研究に関する文献



2023年における各質的研究をKWにしてヒットした数

質的研究の方法	件数
thematic analysis (うちreflexive thematic analysis: RTA)	12,365 (1,492)
ethnography	5,325
grounded theory	1,617
Phenomenology	961

注: 医療系文献検索データベースPubmedによる上記単語だけによるkey word検索のため、実際研究で使われている方法とは限らない

Contents



1. 量的研究と
質的研究



2. RTAの概要



3. RTAの進め方と
tips

4. 質の高いRTAを
行うためには



5. COREQの紹介



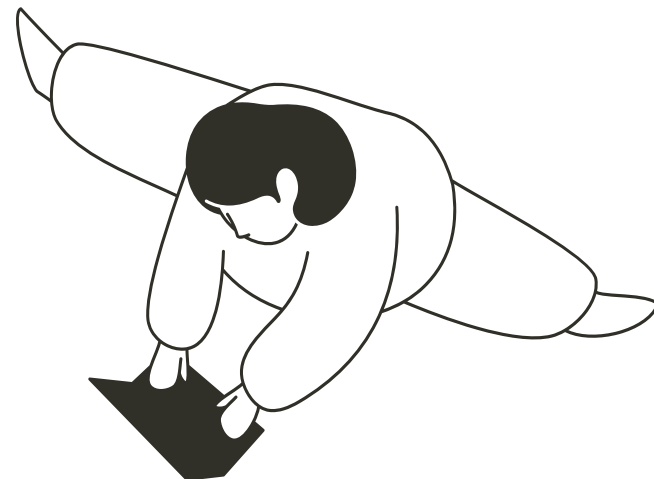
6. まとめ





2. RTAの概要

- ◆ TA (thematic analysis) とは
- ◆ TAの3つのタイプ
- ◆ RTAの特徴



TA (thematic analysis) とは



リサーチクエスチョンに対して、質的データによるデータセット全体から意味のパターン（テーマ）を作成すること。

TAは単一の方法ではないが、いずれも理論的柔軟性を有している。

Braun & Clarke, The University of Auckland, <https://www.thematicanalysis.net/understanding-ta/>
Retrieved 2024-10-21

* 解釈的現象学 (IPA): 主に批判的实在論 (現実に対する知識は常に状況に依存しており、暫定的なものである) (飯沼、2019) に準拠



* GT: 主に象徴的相互作用論に準拠

RTA (reflexive thematic analysis) とは



Braun & Clarkeが提唱しているTAを他のTAと区別をするために、2019年からRTAと呼ぶようになっている。

(Braun, Clarke, Hayfield, & Terry, 2019a, pp.843-849;2019b)

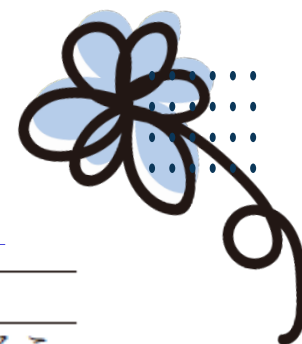
(そのため、ここではRTAを中心に記述しているが、Braun & Clarkeが以前からTAとして述べていた内容も含む。)



Professor Virginia Braun
University of Auckland

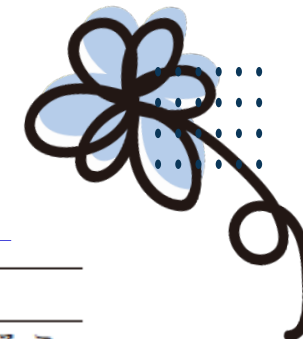


Associate Professor Victoria Clarke
University of the West of England (UWE)



TAの3つのタイプ

	特徴	「再帰的」TA との関係
「コーディングの信頼性」TA	・ 構造化されたコードブックの使用と何人かの独立した分析者によるコーディングの精度またはCohen's Kappaなどを使った信頼性の測定を行う (Braun, et al., 2019c)。 ・ 分析したデータには客観性と先入観が入り込まないことを重視している論理実証主義者 (neopositivist) のアプローチである (Braun & Clarke, 2021a)。	・ 別の分析者とデータをコーディングすることはアイデアを反映させるのに役立つ可能性はあるが、これは必ずしもより正確で信頼性の高いコーディングにつながるとは限らないため、Boyatzis, Guest ら, Joffe らが行っているコーディングの信頼性アプローチなどの評価者間の信頼性スコアの計算を推奨しない (Braun, et al., 2019c)。
「コードブック」TA	・ コーディングの信頼性を計算するという論理実証主義者の影響は受けていないが、構造化されたコードブックを使う (Braun, et al., 2019c)。	・ コードブックは実用的な点では認めるが、コードブックを使わなくても、テーマは帰納的な方法と分析プロセスを通じて改良したり新しいテーマを開発したりできるため、再帰的TAでは使用しない (Braun, et al., 2019c)。
「再帰的」TA	・ Braun & Clarkeが今まで提唱してきたTAと「再帰的」TAは、基本的には同じ位置づけであり、「コーディングの信頼性」TAと「コードブック」TAとの違いを明確にするために、2019年に再帰的TAと命名した (Braun, Clarke, Hayfield, & Terry, 2019a, pp.843-849 ; 2019b)。 ・ 「再帰的」TA と、「コーディングの信頼性」TA、ならびに「コードブック」TAとの混同を避けてほしいと強調している (Braun & Clarke, 2021a)。 ・ 質的研究の価値と、分析者の主観的に分析するスキルを使う解釈的なアプローチであるため、評定者間の信頼スコアを出すための研究チームは必須ではなく、むしろ再帰的TAの質を保つためにも望ましいものではない (Braun & Clarke, 2021)。 ・ コーディングは有機的で、コーディングの枠組みは使用せず、テーマはデータコーディングと再帰的なテーマ開発の最終的な結果でなければならない (Braun & Clarke, 2021a)。	



TAの3つのタイプ

特徴		「再帰的」TAとの関係
「コーディングの信頼性」TA	・ 構造化されたコードブックの使用と何人かの独立した分析者によるコーディングの精度を高めることが目的である。信頼性スコアを算出する。	・ 別の分析者とデータをコーディングすることはアイデアを反映させるのに役立つ可能性はあるが、これは必ずしもより正確で信頼性の高いコーディングにつながるとは限らないため、Boyatzis, Guest ら, Joffe らが行っているコーディングの信頼性アプローチなどの評価者間の信頼性スコアの計算を推奨しない (Braun, et al., 2019c)。
「コードブック」TA	・ コーディングの信頼性を計算するという論理実証主義者の影響は受けていないが、構造化されたコードブックを使用する。	・ コードブックは実用的な点では認めるが、コードブックを使わなくても、テーマは帰属させることができる (Braun, et al., 2019c)。
「再帰的」TA	・ Braun & Clarke が今まで提唱してきたTAと「再帰的」TAは、基本的には同じ位置づけであり、「コーディングの信頼性」TAと「コードブック」TAとの違いを明確にするために、このように区別している。	

信頼性TA: 分析者間の一致率を出す

コードブックTA: 分類枠組みが元々あり、そこに沿ってデータを分類する

RTA: 分析者の主観で解釈的に分析するため、分析者間の一致は必要では無い。
コードは有機的であり、最終的な結果である。



再帰性reflexivityに焦点を当てている



◆RTAは、研究者の主観を前面に押し出すことが特徴

◆テーマは「発見」されたり、「出現」するのではなく、研究者が「特定する」(生成する)パターンである。

<https://www.thematicanalysis.net/> Retrieved 2024-10-21

(岡補足: Braun and Clarkeは2019の論文で、「『テーマが出現した』という論述に悩まされている」「テーマは奇跡的に出現するものではない」と述べている。IPAとの差を意識している?)

RTAの特徴 1(補足)



再帰性reflexivityとは



◆アンソニー・ギデンズは自己意識が他者の理解と不可分に結びついていることを重要なことと考え、個人と社会との循環に焦点を当てた。

◆自己再帰性: 行為者が自己をモニターし、自らの意味を再審したり、行為の帰結が行為者自らに作用したりする事を指す。

◆制度再帰性: 行為が社会構造に条件付けられつつ、同時に社会行動に影響を及ぼす事を指す。

◆認知的再帰性: 概念的言語的な媒介によることを指す。

中西真知子(2013)再帰性の変化と新たな展開ーラッシュの再帰性論を基軸にー、社会学評論、64(2)、224ー239

RTAの特徴 2



使用するデータ

インタビュー内容、日記、映像、印刷物、観察した内容など、多様なデータを使って良い

<https://www.thematicanalysis.net/faqs/> Retrieved 2024-10-21



帰納的または演繹的アプローチ

目的や何を優先して分析するかという全体的な方向性に影響される

Braun, V., & Clarke, V. (2012). *Thematic analysis*. In H. Cooper, et al. (Eds.), *APA handbook of research methods in psychology, Vol. 2. Research designs: Quantitative, qualitative, neuropsychological, and biological* (pp. 59–60). Psychological Association.



Contents



1. 量的研究と
質的研究



2. RTAの概要



3. RTAの進め方と
tips

4. 質の高いRTAを
行うためには

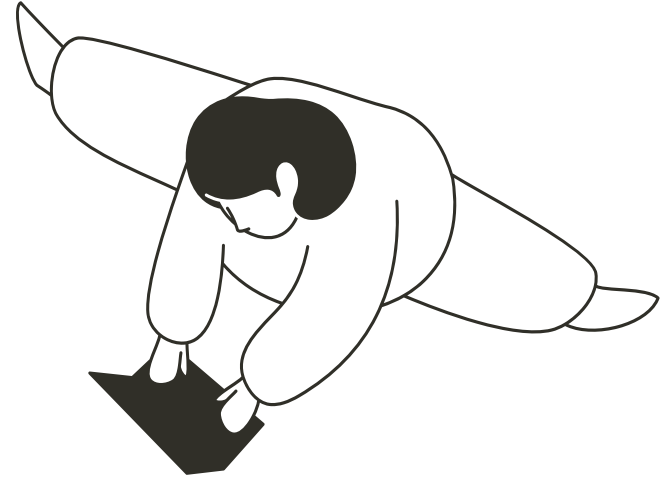


5. COREQの紹介



6. まとめ





3. RTAの進め方とtips

- ◆ RTAの前にデータ収集
- ◆ インタビュアーに必要なスキル
- ◆ RTAの6つのフェーズ



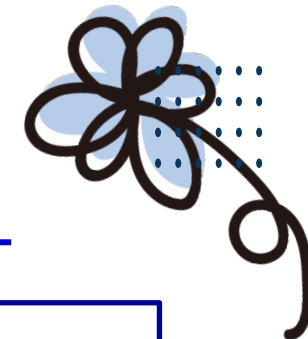
RTAに入る前に：データ収集が重要！



インタビューで、研究の出来が
8割決まる！！

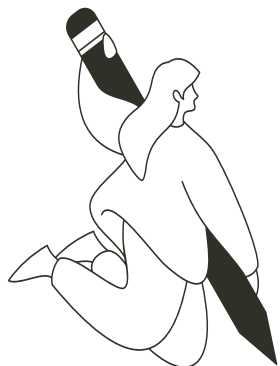
- ・全部データを取ってしまってから、聞き足りないことがあっても後の祭り・・・。
- ・Richなデータを取ることが重要！

データ収集例



インタビュー・スケジュールや質問の作成、対面インタビューの実施、そしてテープ起こしまで、**データ収集のあらゆる側面を自分で行う**ことで、私は最初からデータに没頭することができた。

特にインタビューでは、**参加者と関わり、信頼関係を築き、彼らのストーリーを一緒に探求**し、書き起こしの過程で各インタビューに何度も耳を傾けることができた。そのため、分析前に、インタビュー・データに慣れ親しむことができた。





インタビューに必要なスキル

- 参加者との良好な信頼関係を築くことができる
- 共感性の高さを身につける
- 参加者に高い関心を持つ
- カウンセリング（特に傾聴）を学ぶ

<具体的には・・・>

- ・参加者の状況を知る、フィールドに入る
(例: インタビュー前に病棟で研修を受ける)
- ・傾聴: 繰り返し、うなずき、沈黙、適宜視線を合わせる
- ・コミュ力は重要だが、話を盛り上げる力ではなく、傾聴力が必要！



tips

インタビュー プロトコル 例



How Entertainment Journalists Manage Online Hate and Harassment

Noel Warford , Nicholas Farber、Michelle L. Mazurek

エンターテインメント・ジャーナリストがオンラインのヘイトやハラスメントをどのように管理しているか

USENIX Symposium on Usable Privacy and Security (SOUPS) 2024. August 11–13, 2024, pp279–296

https://www.usenix.org/system/files/soups2024_full_proceedings.pdf

こんにちは、私の名前は[研究者名]です、この研究に参加することに同意していただきありがとうございますー私たちはあなたに時間をとっていただいたことに本当に感謝しています。

まず、この研究がどのように行われるか、手短かに説明しましょう。私はあなたにインタビューして、[私/私の同僚]がメモを取ります。研究には約1時間かかると予想しています。

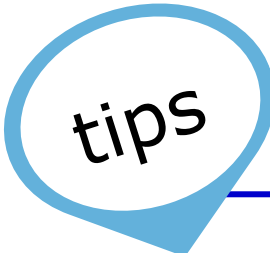
1. フェーズ1: データに精通する

(Familiarizing yourself with the data)



データセットの内容を熟知し、リサーチクエスチョンに関連する可能性のある事柄に気づき始めることであり、コーディング(coding, フェーズ2で詳述)を開始する前に、データセット全体を少なくとも1回は読み取り、データの内容を熟知したと感じられるようになる必要がある。

(Braun, V., & Clarke, V. (2006). doi: 10.1191/1478088706qp063oa ; Braun & Clarke, 2012, p.61)



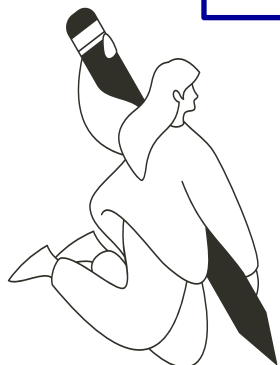
tips

1. フェーズ1: データに精通する

(Familiarizing yourself with the data)



アンケートとインタビュー記録は、**何度も読み返した**。このプロセスの間、私は**振り返り日記を使い**、データ収集や書き起こしの際に思いついたことをメモした。これには、個人的な考察、データから思い出したこと、考えさせられたこと、参加者について気づいたことなどが含まれる。



Wheeler, L. <https://www.thematicanalysis.net/examples-of-good-practice/> Retrieved 2024-10-21

2. フェーズ2:コーディング (Coding)



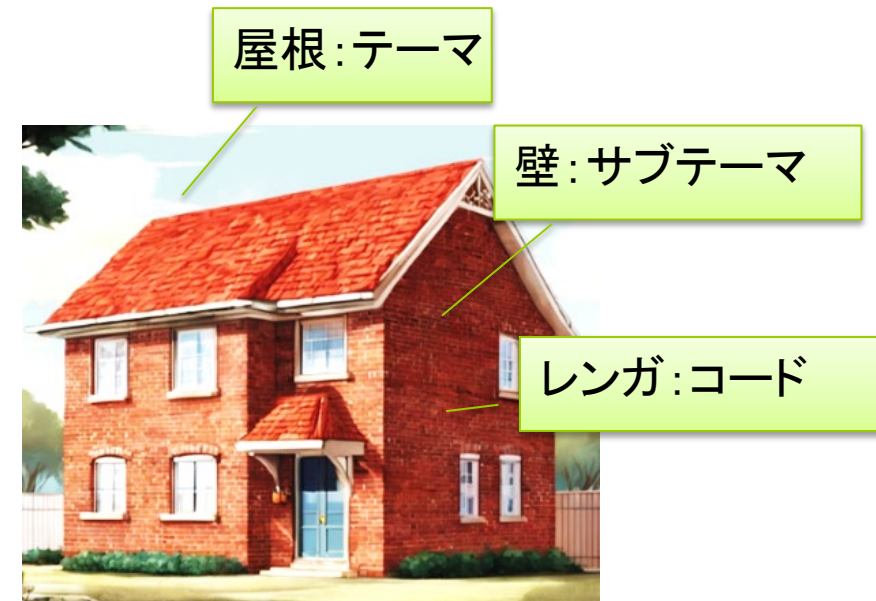
・リサーチクエスチョンに関連するデータの特徴を捉え、想起させる簡潔なラベル(コード！)を作成する。データセット全体を2回以上コーディングし、その後、すべてのコードと関連するすべてのデータ抽出を照合し、後の分析に備える。

<https://www.thematicanalysis.net/understanding-ta/> Retrieved 2024-10-21

- ・コードは分析の構成要素
- ・分析対象は瓦屋根のレンガ造りの家
テーマは壁や屋根、コードは個々のレンガや瓦
(Braun & Clarke, 2012, p.61)

(岡補足:

コードはレンガ、サブテーマはそのレンガで作った壁、
テーマはその上に載る屋根)



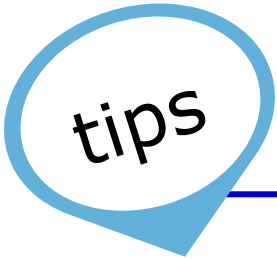
3. フェーズ3: 初期テーマの生成

(Generating initial themes)



コードと照合されたデータを調べて、重要で幅広いパターン(潜在的なテーマ)を特定し、次に、コードを潜在的なテーマに照合し、各潜在的なテーマに関連するすべてのデータを収集する。

(Braun & Clarke, 2006; <https://www.thematicanalysis.net/> Retrieved 2024-10-21)



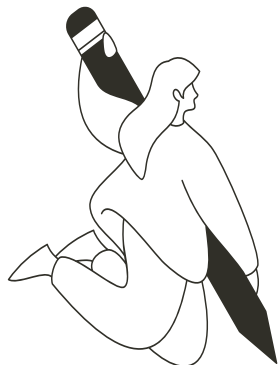
tips

3. フェーズ3：初期テーマの生成

(Generating initial themes)



テーマの数は、データ、調査の質問、分析レポートの長さ、および分析の焦点に依存するため、正確な公式規定はないが、一般に8,000～10,000語の英語論文で通常2～6個のテーマを報告する。



Braun, V., Clarke, V., Hayfield N., & Terry G. (2019). *Answers to frequently asked questions about thematic analysis*. The University of Auckland. Retrieved from <https://cdn.auckland.ac.nz/assets/psych/about/our-research/documents/Answers%20to%20frequently%20asked%20questions%20about%20thematic%20analysis%20April%202019.pdf> Retrieved 2024-10-21

4. フェーズ4: テーマの開発とレビュー

(Developing and reviewing themes)



この段階では、候補となったテーマを、コード化されたデータやデータセット全体と照らし合わせてチェックし、データについて説得力のあるストーリーを語っているか、リサーチクエスチョンに対応しているかを判断する。

このフェーズでは、テーマをさらに発展させ、時には分割したり、組み合わせたり、破棄したりする。私たちのTAアプローチでは、テーマは、中心的概念やアイデアに支えられた、共有された意味のパターンとして定義される。

tips

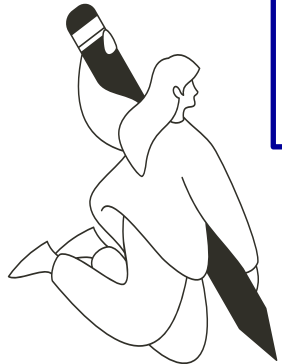
4. フェーズ4: テーマの開発とレビュー

(Developing and reviewing themes)



テーマを検討する際の主なポイント (Braun & Clarke, 2012, p.65)

- ①これはテーマなのか(単なるコードの場合もある)?
- ②テーマである場合, そのテーマの質はどうか(データセットとリサーチクエスチョンについて有益なことを示しているか)?
- ③このテーマの境界は何か(何を含み, 何を除くか)?
- ④このテーマをサポートするのに十分な(意味のある)データがあるか(テーマは浅いか深いか)?
- ⑤データが多様で多岐にわたっているか?



5. フェーズ5: テーマの磨き上げ, 定義と命名

(Refining, defining and naming themes)



・この段階では、各テーマの詳細な分析を行い、各テーマの範囲と焦点を絞り込み、各テーマの「ストーリー」を決定する。また、各テーマにふさわしい名称を決めることも含まれる。

<https://www.thematicanalysis.net/> Retrieved 2024-10-21

・Braun & Clarkeは、磨き上げ(Refining)という言葉も追記しており、何度も繰り返しテーマを検討することを強調している。

Boulton, E. (2022). *Precision matters: Refining, defining and naming themes (phase five)*. In V. Braun, & V. Clarke, (Eds.), *Thematic Analysis, A practical guide*, (p.292). London: Sage.

tips

フェーズ4: テーマ命名の最終段階で迷ったとき



テーマの命名で迷ったとき、どうしますか？



- ◆ テーマの焦点絞るべきであるため、多くのことを述べようとしすぎないこと
例: 血液透析患者のセルフ・コンパッション (Kenmochi T, Oka M, in press)
「受容」「肯定」「再発見」という3つのテーマが生成
(もう少し長いテーマもあるが...)
- ◆ 関連性はあるが重複していないこと。他のテーマを参考にしているが反復していないこと。
- ◆ リサーチクエスチョンに直接対応していること
- ◆ 迷ったら、データセットに戻り、語り手はどのような意味で言っているかを確認する。
例: 「大丈夫です」は、どのような意味で言っているのか？
- ◆ 手垢がついていない、新しいテーマ名であること

6. フェーズ6: 報告書の作成 (Writing up)



この最終段階では、分析アウトラインとデータ抽出をまとめ、既存の文献との関連で分析を中断する。

<https://www.thematicanalysis.net/> Retrieved 2024-10-21

ストーリーは、説得力のある明確なものであると同時に複雑で学術的な分野に根ざしたものでなければならない (Braun & Clarke, 2012, p.69)。

テーマは論理的かつ意味のある形でつながり、必要に応じて前のテーマを基にして、データについての首尾一貫したストーリーを語る。

Contents



1. 量的研究と
質的研究



2. RTAの概要



3. RTAの進め方と
tips

4. 質の高いRTAを
行うためには

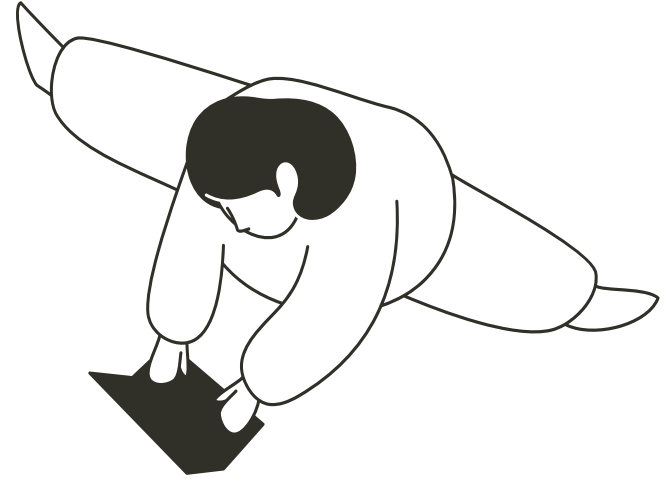


5. COREQの紹介



6. まとめ





4. 質の高いRTAを行うためには

◆ RTAの評価ツール



TA論文の評価ツール 1



方法と方法論の適切な選択と説明



1. TAを使用する理由を説明していますか？
2. 使用している TA の種類とその正当性を説明していますか？
(岡補足: Braun & Clarkは、しばしば「マッシュアップは問題」と述べている。)
7. TA に関する問題のある仮定や実践の証拠はありますか？
(岡補足:「以下の問題がありますか？」という意味)
 - ・TAは1つの実体として扱う
(岡補足: TAは3つあるのに、1つしかないというのは良くない)
 - ・グラウンデッド・セオリーの概念と手順(例: 飽和、継続的比較分析、行ごとのコーディング)が、説明無くTAに使われている。

TA論文の評価ツール 2



十分に練られた正当性のある分析



14. レポートのテーマが何で、どこにあるかは明確ですか？

15. 報告されたテーマは、「完全に実現されたテーマ」ではなく、トピックの要約ですか？

(岡補足 : Braun & Clark(2019)は「研究者は、テーマの理解を振り返り、共有された意味としてのテーマと共有されたトピックとしてのテーマを意図的かつ再帰的に使用し、再帰的テーマ分析における『テーマ』のトピック要約を使用する場合はその正当性を明示することを推奨する。」と述べている。)

Contents



1. 量的研究と
質的研究



2. RTAの概要



3. RTAの進め方と
tips

4. 質の高いRTAを
行うためには



5. COREQの紹介



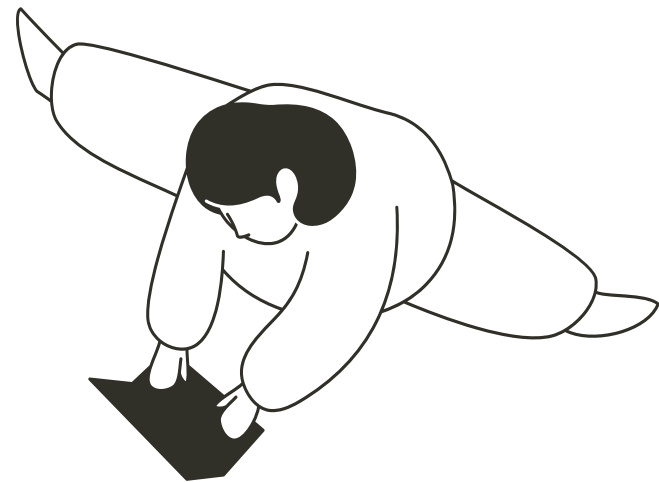
6. まとめ





5. COREQの紹介

◆ COREQ: 質的研究報告のための統合基準



COREQ



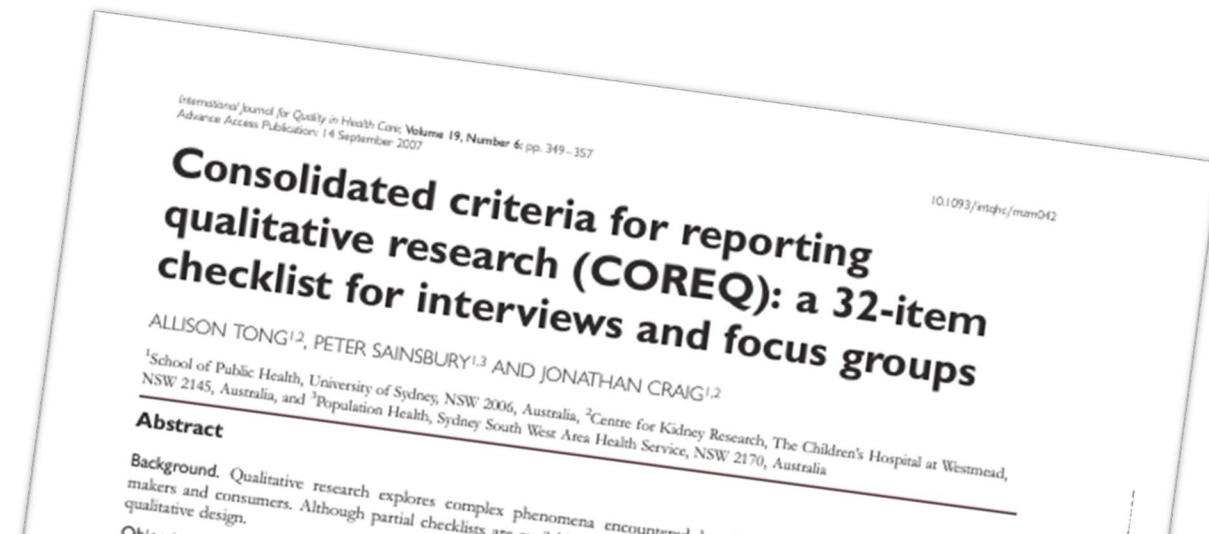
COREQ (CONsolidated criteria for REporting Qualitative research) Checklist

質的研究報告のための統合基準：

インタビューとフォーカスグループのための32項目チェックリスト

Allison Tong, Peter Sainsbury, Jonathan Craig, Consolidated criteria for reporting qualitative research (COREQ): a 32-item checklist for interviews and focus groups, *International Journal for Quality in Health Care*, Volume 19, Issue 6, December 2007, Pages 349–357, <https://doi.org/10.1093/intqhc/mzm042>

質的研究を投稿する際に、32項目の内容が
投稿原稿のどこに記載されているかを
示すようにjournalから求められることが多い。
→研究計画から、32項目を意識しながら計画する





領域1：研究チームおよび再帰性



1. インタビュアーは誰か？
8. インタビュアーの特徴（研究テーマに関するバイアス、仮説、理由、関心など）

領域2：研究デザイン



13. 何人が参加を拒否したかまたは脱落したか？
22. データの飽和について議論されたか？

領域3：分析および研究結果



28. 参加者は結果に対してフィードバックをしたか？
30. 提示されたデータと結果に一貫性はあったか？

Contents



1. 量的研究と
質的研究



2. RTAの概要



3. RTAの進め方と
tips

4. 質の高いRTAを
行うためには



5. COREQの紹介



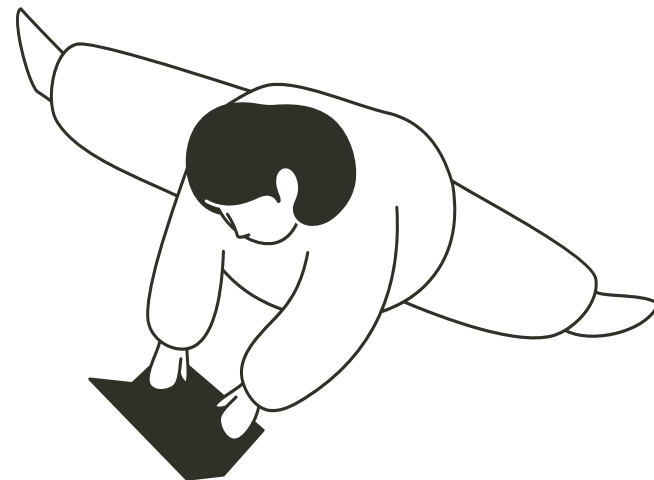
6. まとめ





6. まとめ

◆ 5つのまとめ



まとめ



- 1.量的研究は事象を数量化して、質的研究は事象を記述する
- 2.再帰的テーマティック分析(RTA)は研究者の主観を重視している
- 3.RTAの前にデータ収集が重要であり、RTAは6フェーズに分かれている
- 4.質の高いRTA:TA論文の評価ツールを確認する
- 5.質的研究の計画・報告にはCOREQを確認しておく

